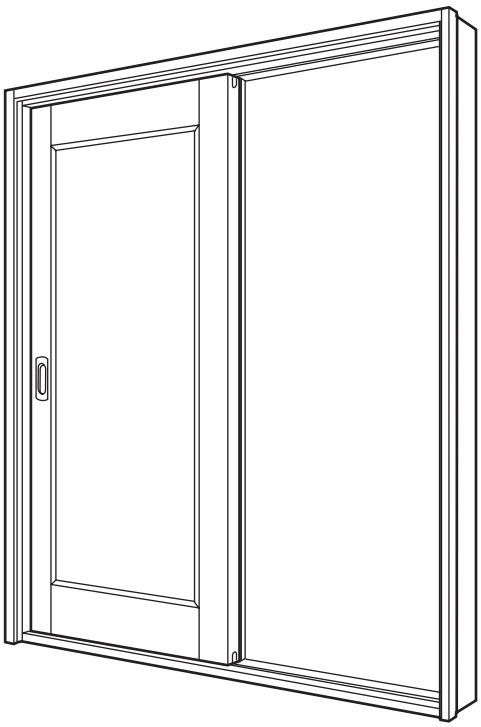
アメニティデザイン企業

DAIKEN

施工後、必ずお施主様にお渡しください。

施工説明書
取扱説明書

ダイケンリビングドアＲⅢシリーズ
防音タイプ　居室タイプ　引戸・片引
（カマ錠付）



この冊子には、施工上重要な項目が記載されています。
施工の際にはよく読み、手順通りに正しく施工してください。
又、使用後は必ずお施主様にお渡しください。

大建工業株式会社

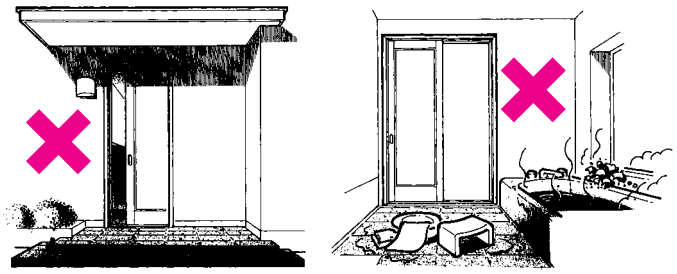
ON-D15-091124

必ずお守りいただきたいこと

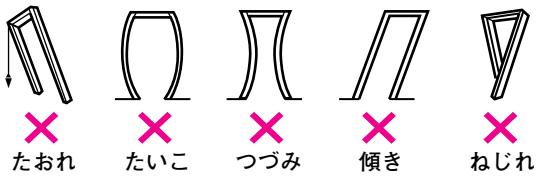
⚠施工上注意

ダイケンリビングドアRⅢシリーズ防音タイプを長期間安全に使えるように施工するために、またトラブルのない確実な施工をしていただくために、以下のことを必ずお守りください。

●この引戸は一般住宅用の室内用引戸です。
玄関等の室外、浴室用の水や湿気の多い部位へのご使用はおやめください。



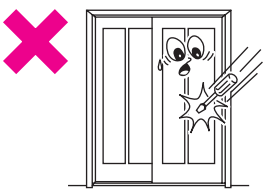
●枠の水平・垂直等建付を確認してから取り付けてください。
防音性能の劣化や開閉不具合の原因となります。
ドアと戸当りのパッキンとの間に隙間が生じる場合は、再度枠の建付を確認して正しく施工してください。



●沓摺、敷居をコンクリートやモルタルに直付けしないでください。やむを得ず直付けする場合は、沓摺、敷居と床面の間に必ず防水処理をしてください。

●扉・枠及び金具、ガラスに工具などをぶつけたり、運搬時にひきずらないようにご注意ください。

――傷をつけるおそれがあります。



●工事が完成するまでの間、扉はたてかけて保管しないでください。

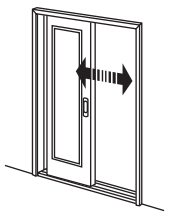
●照明灯、ストーブ等を近づけすぎないでください。
――熱によるシート変色、ふくれ等の原因となります。

●本引戸は遮音性能を発現させるため、気密性を高めており、24時間換気の通気経路になりません。
部屋単位で換気を確保してください。

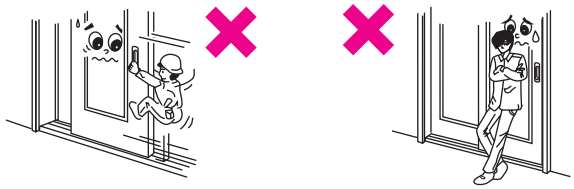
⚠使用上注意

本製品を安全に、また末永くご愛用していただくためにご使用前に必ずよく読み、正しい使用法・使用上の注意事項をよく理解してください。この取扱説明書は、いつでも利用できるように、大切に保管してください。

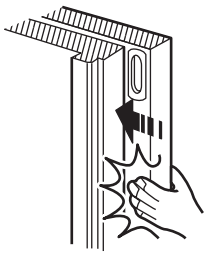
●扉の開閉は、静かに行ってください。
乱暴に扱うと扉が破損したり脱落する恐れがあります。
●本引戸は周囲にパッキン材がありますので、扉開閉時に多少抵抗があります。



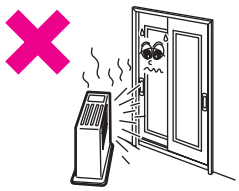
●扉にぶつかったり、扉にもたれたりしないでください。
扉が破損したり、脱落する恐れがあります。



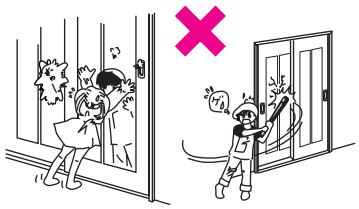
●扉と枠の間や、扉どうしの隙間に指をはさまないよう注意してください。
特に小さなお子様には十分ご注意下さい。



●ストーブ等の熱源を近づけないでください。
扉が反ったり、表面がゆがんだりすることがあります。



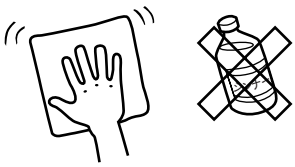
●ガラスに強い衝撃を与えたり、物をぶつけたりしないでください。
ガラスが割れるおそれがあります。特に小さなお子様には十分ご注意ください。



●扉を一度とりはずし、再度とりつけられる場合は、本書の＜施工手順6　扉のはめこみ＞の項目を参照いただき、手順にしたがって行なってください。

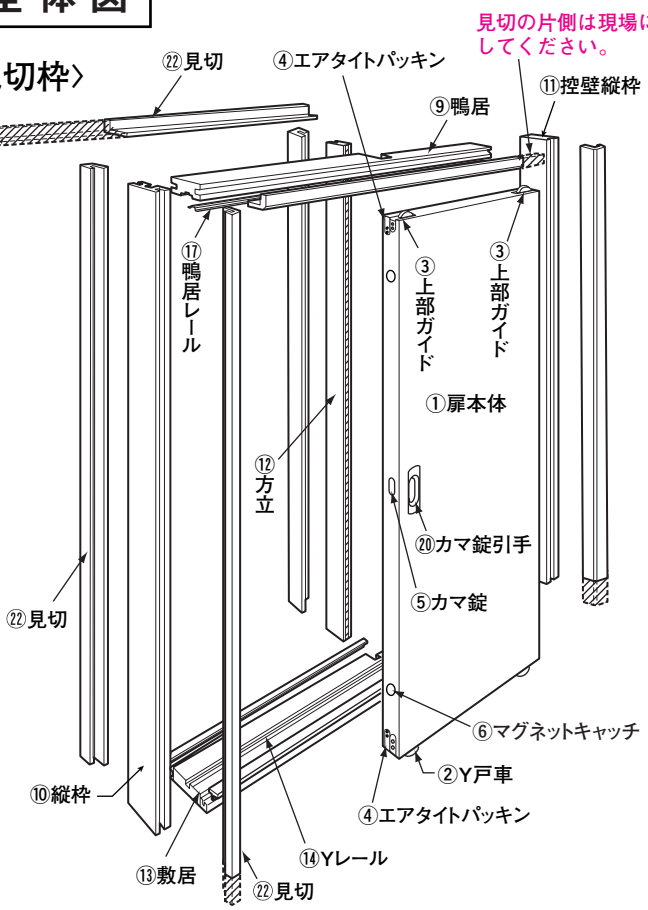
お　手　入　れ　の　方　法

●扉や枠の清掃は、乾拭き又は中性洗剤を薄めて、硬く絞って拭いてください。
シンナー・ベンジン等を使用すると、表面の艶が変わったり、変色する場合がありますので、避けてください。
●敷居のＹレールに、ゴミやほこりがたまると引戸の走行に支障を生じる可能性がありますので、掃除機などでこまめに掃除をしてください。

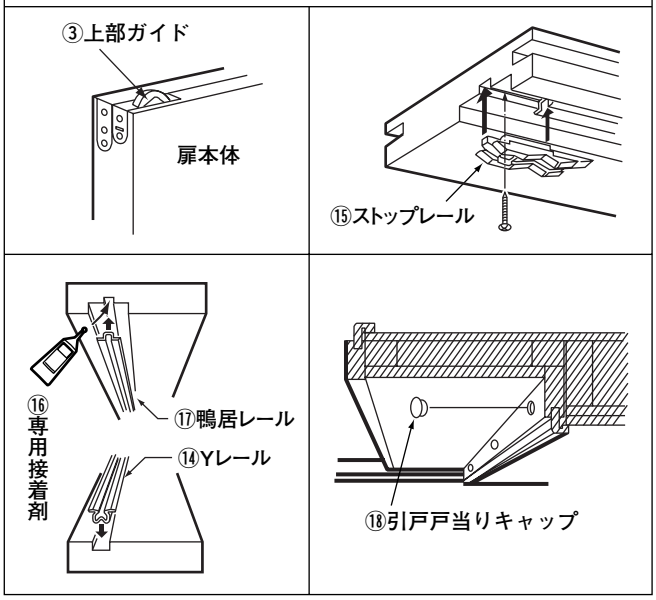


全体図

〈見切枠〉



拡大図



部材・部品表　施工前に必ず部品を確認してください。

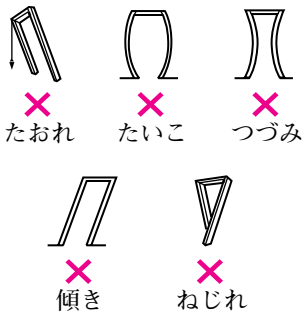
	No	部品名称		数　量	備　考
扉セット	①	扉本体		1	
	②	Y戸車		2	扉本体に取付済
	③	上部ガイド		2	扉本体に取付済
	④	エアタイトパッキン		2	扉本体に取付済
	⑤	カマ錠		1	扉本体に取付済
	⑥	マグネットキャッチ		2	扉本体に取付済
	⑦	扉小口カバー		1組	1組＝4枚入り、固定ビス4本
	⑧	カマ錠施錠ピン		1	交換説明書は、扉に貼付
枠セット	⑨	鴨居		1	プレカット済
	⑩	縦枠		1	プレカット済、パッキン取付済
	⑪	控壁縦枠		1	プレカット済
	⑫	方立		1	プレカット済、パッキン取付済
	⑬	敷居		1	
	⑭	Yレール		1	
	⑮	金具セット	枠組立ビス	10	φ4.2×50
			枠調整ビス	11	φ4.2×55
			ストップレール	1	取付ビス同梱
	⑯	専用接着剤		1	酢酸ビニル・エチレン共重合エマルジョン
	⑰	鴨居レール		1	
	⑱	引戸戸当りキャップ		8	
	⑲	施工説明書・取扱説明書		1	必ずお施主様にお渡しください。
カマ錠引手セット	⑳	カマ錠引手		1組	ピンは⑧と交換して使用してください。
	㉑	取付ビス		2本	
見切セット	㉒	見切	縦　用	4	壁厚に合わせて5サイズの中からお選びください。
			横　用	2	

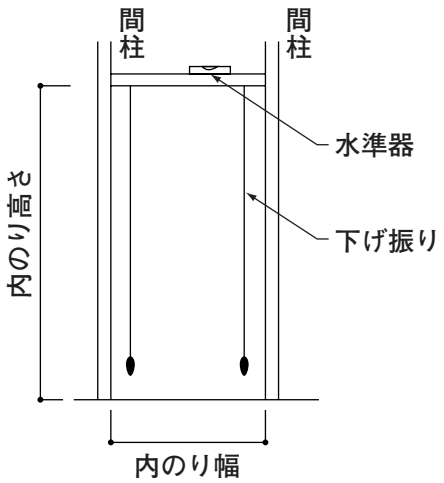
必要梱包　扉セット＋枠セット＋カマ錠引手セット＋見切セット（計4梱包）

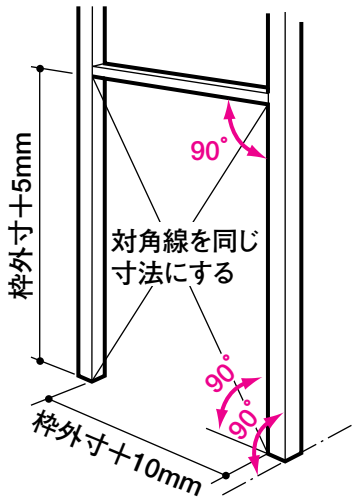
準 備

●開口部の幅・高さの寸法を十分に確保してください。
●柱の垂直、床・まぐさの水平を下げ振り・水準器でよく確認してください。

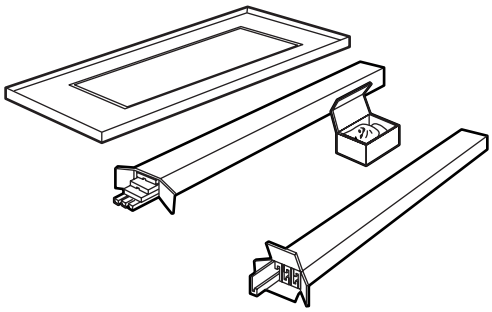
※柱、床、まぐさの水平、垂直がでていないと下図の原因となります。







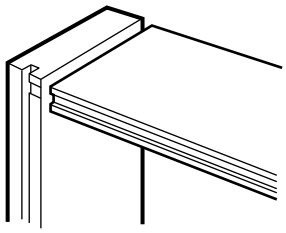
梱包を開けて部品を確認してください。



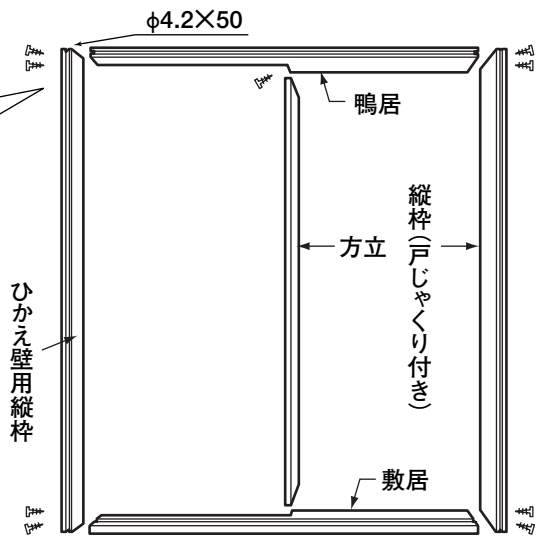
施工前に

下図のように枠を組み立ててください。

ひかえ壁用縦枠の見切溝側と鴨居の見切溝側を揃えてください。

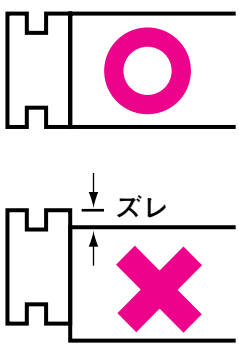


※縦枠は正寸カット済みです。
組立には同梱の枠組立ビスを使用してください。



見切枠の場合

縦枠と鴨居にずれがないように組み立ててください。



⚠ 注意　縦枠と上枠にずれ又は隙間があると音洩れの原因となります。十分注意の上、組み立ててください。

施工手順

1 開口部への枠の取付

①枠を開口部にはめこんで縦枠側（戸じゃくり有り）の上部を枠調整ビスで仮固定してください。

②下げ振りを使って垂直をだしてから、縦枠（戸じゃくり有り）の下部を枠調整ビスで仮固定してください。

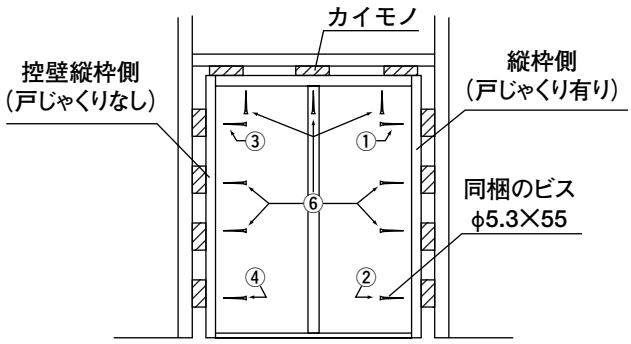
③水準器で上枠の水平を見ながら控壁縦枠の上部を枠調整ビスで仮固定してください。

④下げ振りを使って垂直をだしてから、控壁縦枠の下部を仮固定してください。

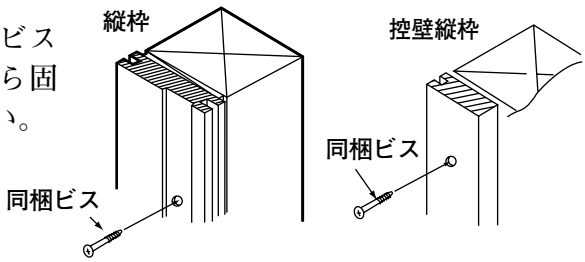
⑤枠の左右調整は右記の様に行ってください。

⑥枠の前後、左右のたわみがない様に調整して残りの枠調整ビスで本固定してください。

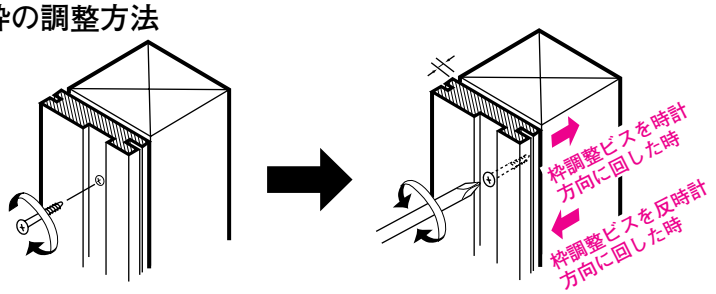
⚠ ビス固定する時に下記の点を注意してください。



同梱の枠調整ビスでリード穴から固定してください。



枠の調整方法

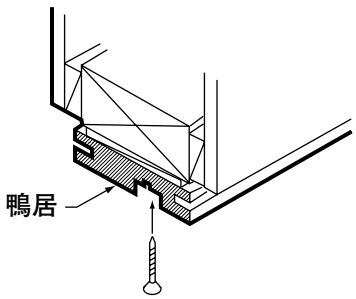


①まず枠調整ビスで枠を固定します。

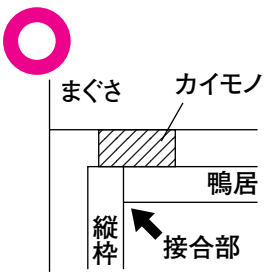
②枠調整ビスを回すことで、柱と枠の間の隙間を調整することが出来ます。

⚠ 注意 枠調整ビスでの調整には必ず手動ドライバーをご使用ください。

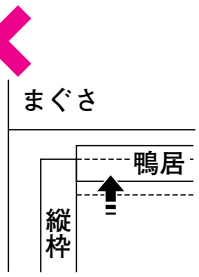
鴨居



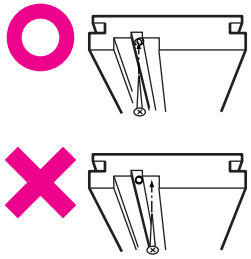
鴨居の溝のリード穴から同梱の枠調整ビスで固定してください。



鴨居と縦枠の接合部とまぐさの間に、スキ間ができないよう、カイモノを入れてください。



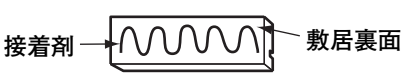
※接合部とまぐさの間にカイモノがないと鴨居がもちあがり戸車が脱輪する原因となります。



⚠ 鴨居レールの溝のリード穴に枠調整ビスを打ってください。

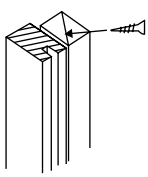
敷居

敷居裏面にウレタン系接着剤又は木工ボンドを図の様に塗布して施工してください。

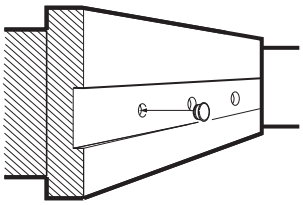


方立

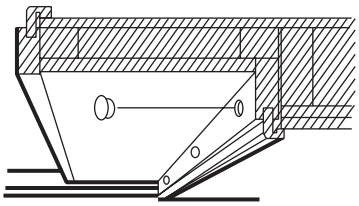
裏面からビスで固定してください。
（現場手配）



2 戸当りキャップの取付



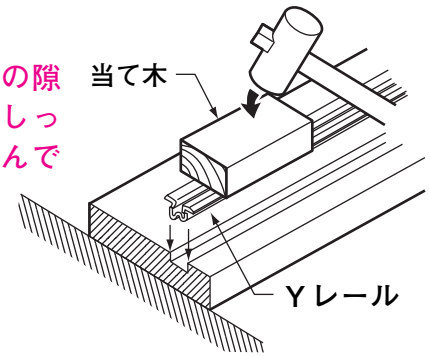
引戸戸当りキャップを縦枠にはめ込んでください。



3 Yレールの取付

Yレールは当て木を当ててかなづち等でたたきこんでください。

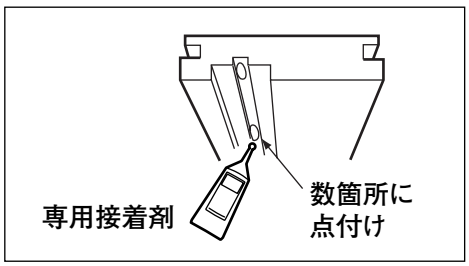
⚠ 敷居とレールの隙間がない様にしっかりたたきこんでください。

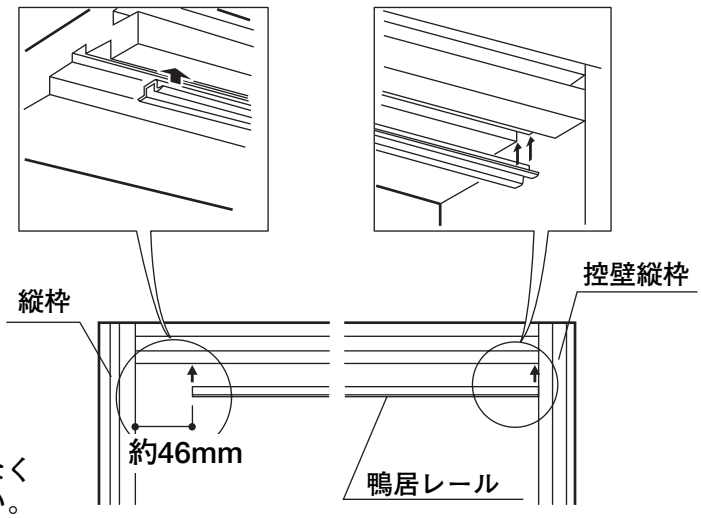


4 鴨居への金具の取付

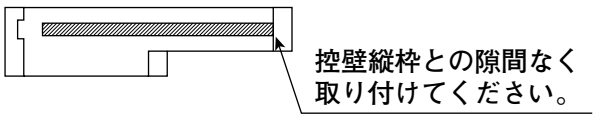
① 鴨居レールをはめこんでください。

必ず接着剤を点付けしてください。





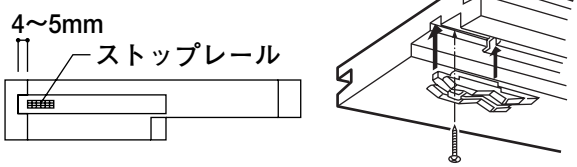
鴨居レール取り付け位置

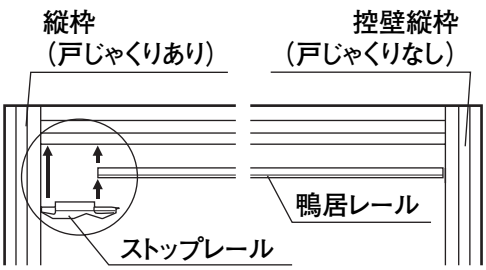


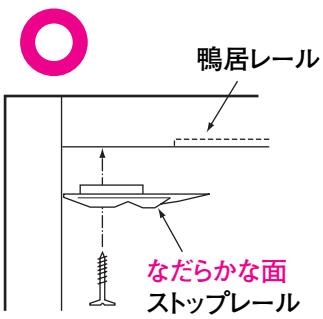
⚠ **注意** 鴨居レールは溝の奥までしっかりと差し込んでください。

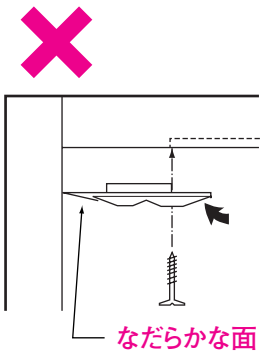
② 鴨居レールの扉が閉まる方向の端にストップレールを取り付けてください。
ストップレールは下穴部分に同梱のビスで取り付けてください。

ストップレール取り付け位置









※必ずストップレールの角度の「なだらかな面」を扉の開く方向に向けて取り付けてください。

5 引手の取付

取付方法は引手セット（カマ錠引手セット）同梱の取付説明書をご覧ください。

※必ず扉に同梱している、カマ錠施錠ピンに交換してください。ピンの交換方法は扉に貼付している説明書を参照ください。（ピンを交換しないとカマ錠が施錠出来ません）

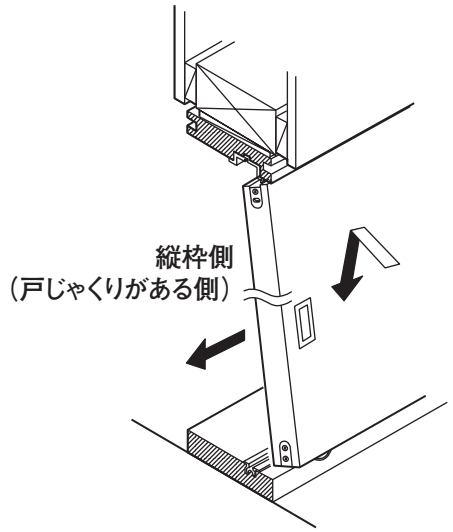
6 扉のはめこみ

扉をはめこんでください。

※扉の上下及び引手の向きを間違えないようご注意ください。

⚠ 注意

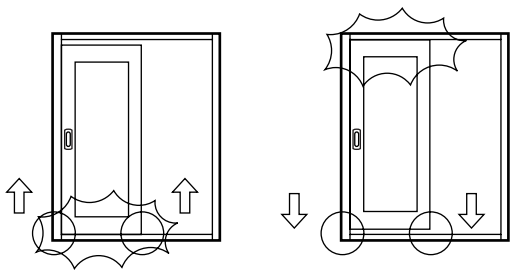
扉を梱包をはずした状態で床に直接立てないでください。
部品を損傷するおそれがあります。

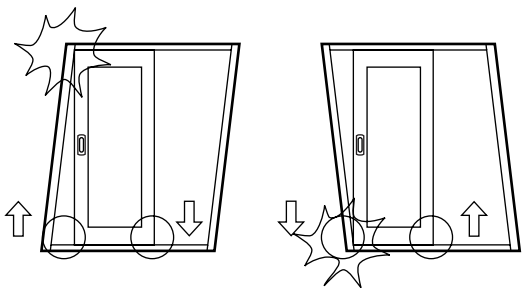


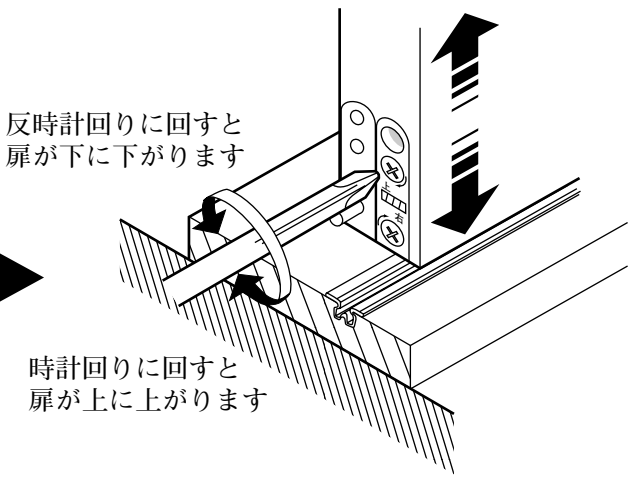
7 Y戸車・上部ガイドの調整

縦枠と扉が平行になるように、Y戸車にて扉の傾きを調整してください。

上下調整（調整可能範囲：6 mm）　下図のような状態の場合、○印のついた箇所の戸車を矢印：⇨ の方向に調整してください。







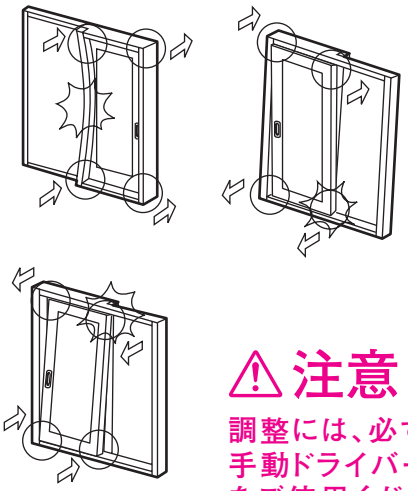
敷居と扉とのクリヤランスは4mmが設定寸法です。2mm以下になると扉下の戸車補強金具とYレールがこすれる恐れがあり、Yレールを傷つける可能性があります。

8 左右調整とエアタイトパッキンの調整

敷居・鴨居と扉が平行で縦枠・方立のパッキン扉が接するように左右調整を行ってください。

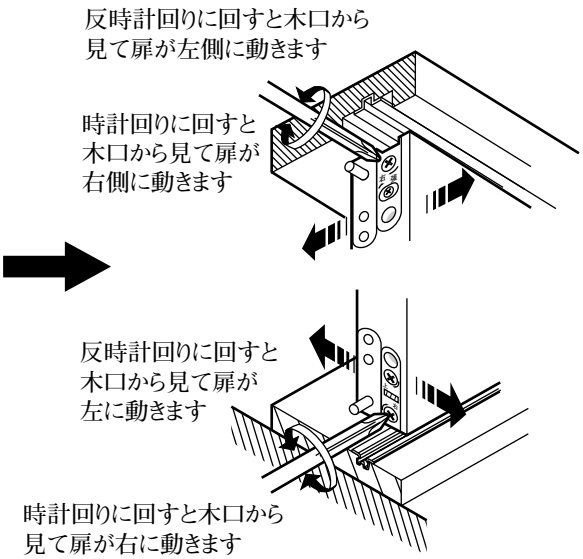
左右調整（調整可能範囲：4 mm）

下図のような状態の場合、○印のついた箇所の戸車及び上部ガイドを矢印：⇨ の方向に調整してください。

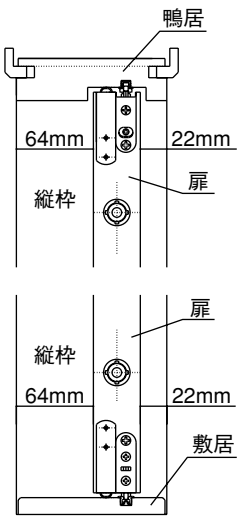


⚠ 注意

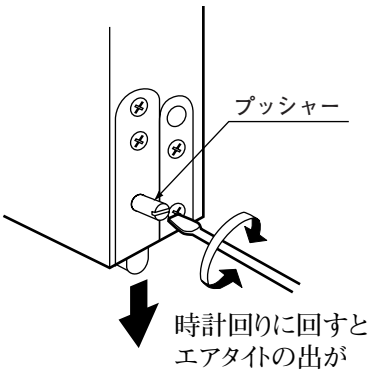
調整には、必ず手動ドライバーをご使用ください。



左右調整の目安



エアタイトパッキンは扉の上下に取り付けてあります。上部・下部とも同様に調整してください。
エアタイトパッキンは扉を閉じたときにパッキンが敷居・鴨居に軽く接触するように調整してください。



⚠ 注意

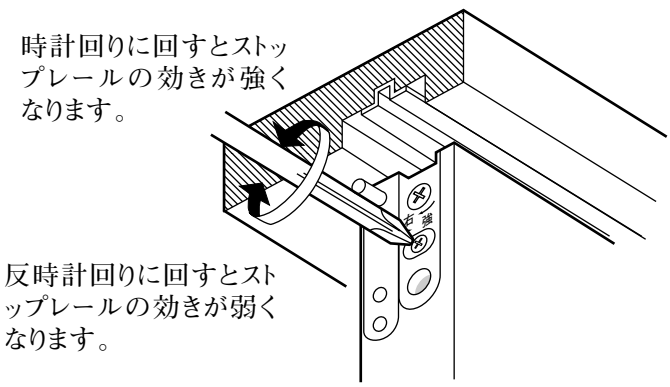
敷居・鴨居とパッキンの接触が強いと開閉時のコスレで摩耗し、敷居・鴨居やパッキンを傷める恐れがあります。

扉を閉めると、エアタイトパッキンのロッドが枠に当りエアタイトゴムが扉下部及び扉上部をシールします。シール圧調整は、ロッドを引き出すと強くなります。敷居・鴨居とエアタイトゴムの間に紙を敷いて引き抜き、抵抗を感じる程度が最適です。プッシャーの出が約10mmが目安です。

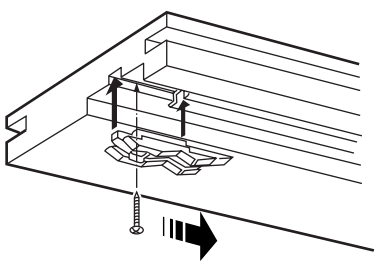
※出荷時は上下ともエアタイトパッキンが引っ込んだ状態になっています。必ず調整を行ってください。

9 ストップレールと上部ガイドの調整

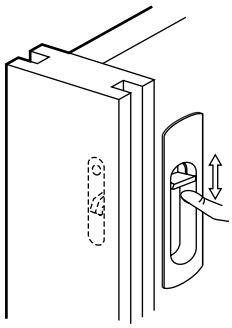
マグネットキャッチが上下とも“パチッ”と吸着するように上部ガイドの下のビスでストップレールの効き具合を調整してください。



ストップレールの位置を微調整すれば、扉の閉まり具合を調整できます。



10 カマ錠受座の調整



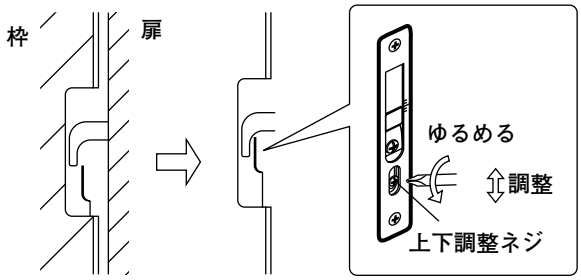
施錠できることを確認してください。

※扉を開けた状態では施錠できません。

施錠が出来ない，しにくい場合は、カマ錠受座にて錠のかかり具合を調整してください。

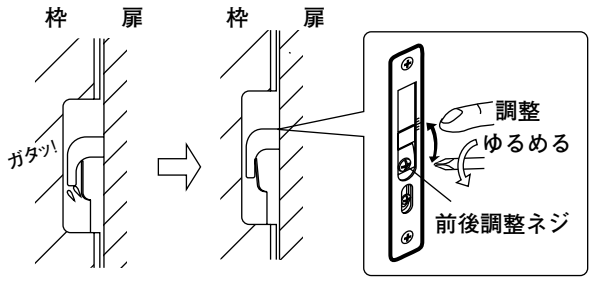
上下調整

①上下調整用ネジをゆるめてください。
②適当な位置に調整して、ネジを締めてください。
③扉を閉めて施錠し、扉が開かない事を確認してください。
④まだ扉が開く場合は①～③を繰り返し調整してください。



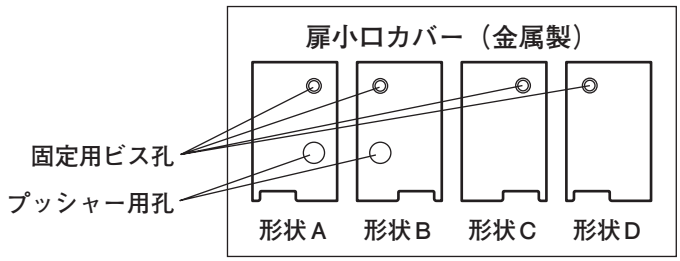
ガタつき調整

①前後調整用ネジをゆるめてください。
②適当な位置に調整して、ネジを締めてください。
③扉を閉めて施錠し、ガタつきのない事を確認してください。
④まだガタつく場合は①～③を繰り返して調整



11 扉小口カバーの取付

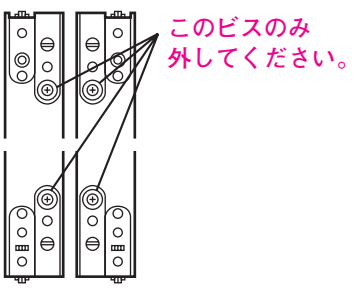
各調整が終了したら、扉に同梱している扉小口カバーを四隅の小口に取り付けてください。



各形状については右図を参照してください。取付位置にご注意ください。

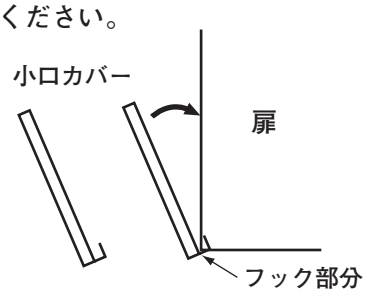
取付手順①

エアタイトパッキンを固定しているビスを1本抜いてください。
他のビスは抜かないでください。



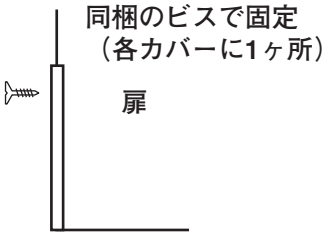
取付手順②

戸車の下部分に小口カバーのフックを引っ掛けて扉小口に取付けてください。引手側（形状A・B）はプッシャーを押しながら取付けてください。



取付手順③

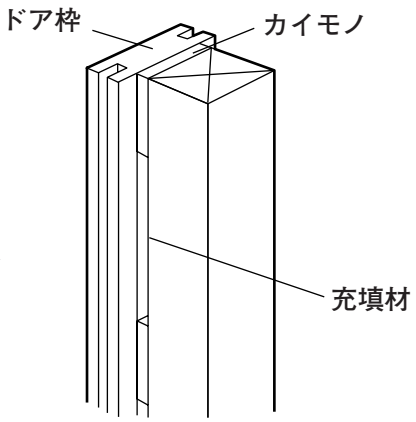
小口カバーに同梱しているビスを使用して小口カバーを固定してください。



12 ドア枠と開口部の処理

ドア枠と開口部のすき間があれば音が漏れ、
引戸の遮音性能が発揮できません。
すき間を次の材料で埋めてください。

・ダイケン遮音隙間充填材
・ダイケン気密遮音コーキング
・石膏
・ダイケン遮音シート
など



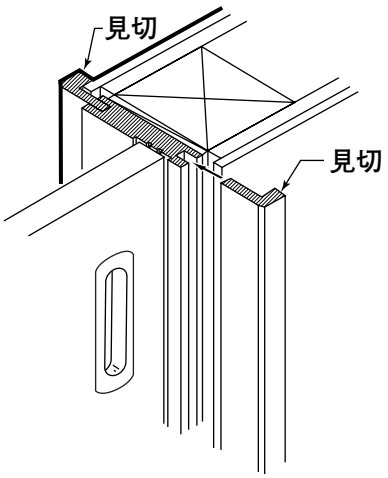
13 見切の取付

見切枠の場合

壁の施工が終了してから、見切を取り付けてください。

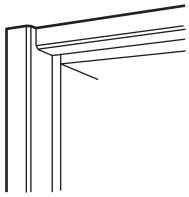
⚠見切に接着剤（木工ボンド）を塗布してください。

※見切は現場にて現物合せしてカットしてください。



シンプルタイプ

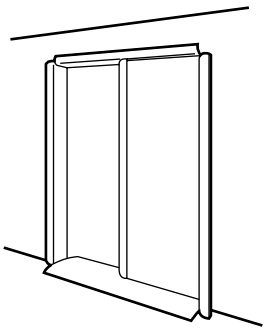
縦勝ちの納めになっています。



14 養　生

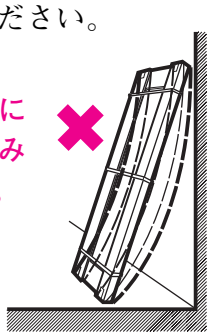
工事が完成するまで扉・枠をダンボールなどで養生してください。

その際、接着力の強いテープを敷居に直貼り使用すると塗装がはがれることがありますので、テープを敷居に直接貼らないようにしてください。
当社では責任を負いかねます。



※扉を壁にたてかけて保管しないでください。

※扉は梱包ケースに再度入れ、平積み保管してください。



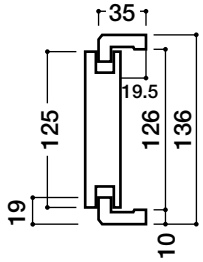
⚠注意　養生テープをはがす際は、ドライヤー加温等でゆっくりと剥がしてください。
常温でテープを急激に剥がすと、塗装が剥がれる可能性があります。

製品寸法図 （単位はｍｍ）

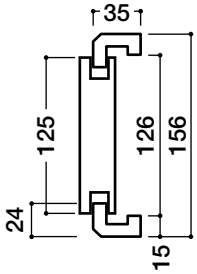
壁厚対応

見切A（シンプル）壁厚126mm

横 用

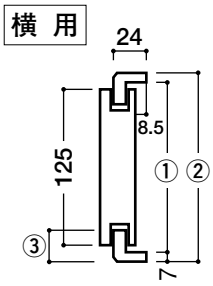


縦 用

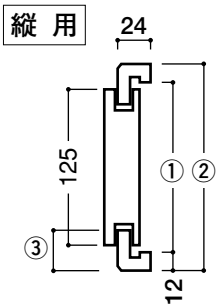


見切B～E（シンプル）壁厚126mm～ 197mm

横 用

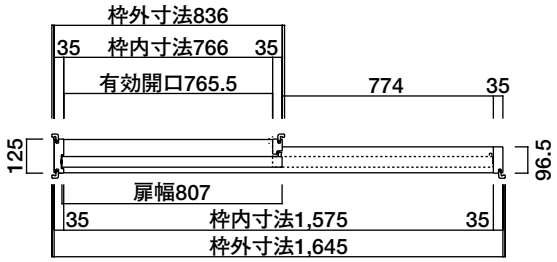


縦 用

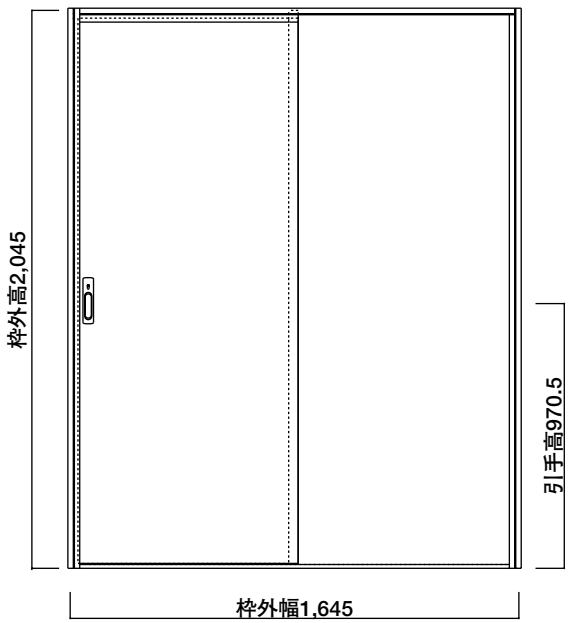


見切		B	C	D	E
①壁厚		126～143	143～161	161～179	179～197
②枠外寸	横用	140～157	157～175	175～193	193～211
	縦用	150～167	167～185	185～203	203～221
③見切サイズ	横用	22	31	40	49
	縦用	27	36	45	54

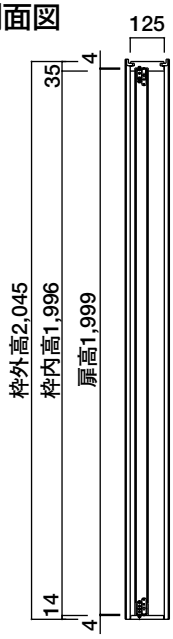
平面図



正面図

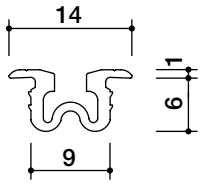


側面図

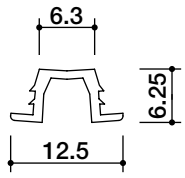


部材断面図

Yレール



鴨居レール

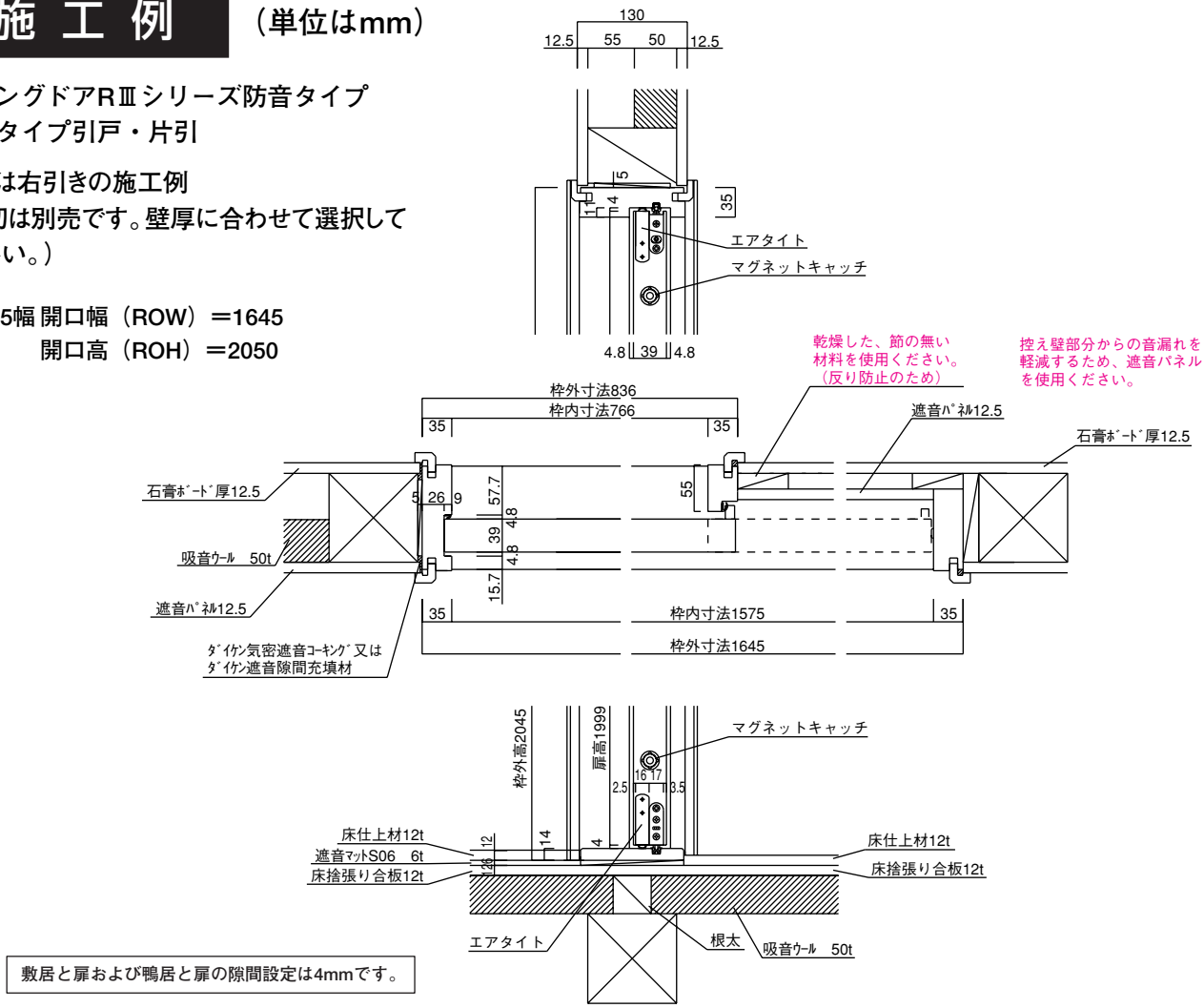


施 工 例 （単位はmm）

リビングドアRⅢシリーズ防音タイプ
居室タイプ引戸・片引

右図は右引きの施工例
（見切は別売です。壁厚に合わせて選択してください。）

1645幅 開口幅（ROW）＝1645
開口高（ROH）＝2050

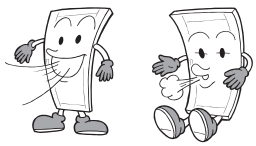


敷居と扉および鴨居と扉の隙間設定は4mmです。

木質材料の性質について

木質ドアの「反り」について

木材を原料とする木質材料（合板、パーティクルボード、MDFなど）を加工して作られた内装ドアは、空気中の水分を吸収したり放出したりすることにより、伸縮する特性を有しています。この空気中の水分の吸収・放出は内装ドア周辺の温度、湿度等の環境条件の変化に応じて発生するものであり、自然現象といえます。特に、内装ドアの室内面側と室外面側の環境条件が大きく異なる場合、「反り」という現象が発生することがあります。



「反り」の発生を出来るだけ抑える方法について

ご使用の環境や設置場所によって「反り」が発生する場合があります。「反り」の発生をできるだけ抑える方法として、次のことにご注意ください。

①エアコン、暖房器具等をお使いになる場合は、内装ドアに直接熱風、熱気が当たらないようにしてください。

②夏場の冷房、梅雨時の除湿、冬場の暖房等により、室内と室外の環境条件の差を極端に大きくしないでください。

③内装ドアに直接日光が当たる場合は、窓辺にカーテン、すだれ等を設けて日光を遮ってください。

発生した「反り」は室内側と室外側の環境条件を近づける事によって、小さくなる事があります。

商品の保証について

商品保証とは、保証期間、保証内容の範囲において故障が発生した場合に、無料で修理をお約束するものです。詳しくは、下記内容をご参照ください。

■対象商品

リビングドア

■保証期間

引渡し後2年とさせていただきます。弊社商品の引渡完了後に生じた、弊社の責任に起因する製品の不具合を、無料で修理する期間としています。保証期間を経過した製品においても、修理可能なものは、有償にて修理を承ります。

■保証期間内でも以下の場合は有料となります。

①建物の設計・施工に起因する場合
②自然現象・周辺環境等の不可抗力に起因する場合
③建物自体の変形、入居後における増改築や改修等に起因する場合
④入居者又は第三者の不適切な使用又は維持管理等に起因する場合
⑤経時変化による通常一般的な当該保証対象製品の色褪色、汚れ、劣化、磨耗など
⑥製造時に実用化されていた技術では予測する事が不可能な事象に起因する場合
⑦その他当該不具合品の発生が弊社の責によらない場合

大建工業株式会社
〒530-8210 大阪市北区堂島1丁目6番20号 堂島アバンザ22Ｆ

DAIKENのホームページアドレス http://www.daiken.jp/

お問い合わせは
建築音響部 サウンドセンター
（東京）TEL 03（6271）7785
（岡山）TEL 086（262）0198